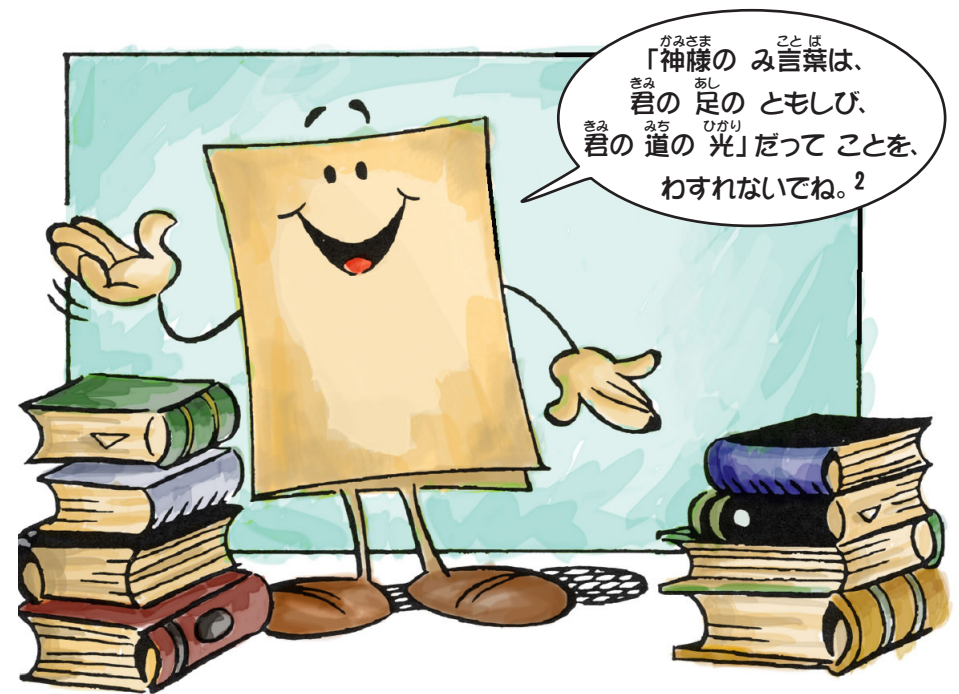




神様の^{かみさま} み言葉^{ことば}は、幸^{しあわ}せで 良^よい 人^{じんせい}生^{おく}を送^{ほうほう}るための 方^{かみ}法^{ことば}を、いろい^{おし}ろと 教^{せいしよ}えてくれるんだ。聖^か書^{かみ}には、こ^{こと}う 書^{ことば}かれてい^{おし}るよ。「神^{かみ}の み言葉^{ことば}を あ^{おし}なたがたに 教^{せいしよ}えてくれた 指^{しどうしゃ}導^{おち}者^だたち^{かれ}の こ^{おし}とを、思^{おも}い出^だしなさい。彼^{かれ}ら^{おし}の 生^{せい}活^{かつ}の 数^{かず}々^{かず}の 良^よい 実^みを 見^みて、そ^{しんこう}の 信^{しん}仰^{こう}に 習^{なら}いなさい。」¹ つま^{まわ}り、 周^{ひと}り^{ひと}の 人^{ひと}たち^{ひと}から、大^{たい}切^{せつ}な こ^{まな}とを 学^{まな}べるとい^{きみ}う こ^{りょうしん}とだよ。君^{きみ}の 両^{りょう}親^{しん}や おじ^{おじ}い^いちゃん、おば^{おば}あ^あちゃん、先^{せん}生^{せい}方^{がた}、世^せ話^わして^{ひと}く^きれる 人^{ひと}たち^からね。み^{みな}な、 君^{きみ}が 良^よい 習^{しゅう}慣^{かん}を 築^{きず}き、良^よい 性^{せい}格^{かく}を 身^みに つけ^{たす}られるよう、助^{たす}けてくれるよ。

正^{ただ}しい 道^{みち}を たど^いって行^いけ^いば、一^{いっ}生^{しょう} 役^{やく}立^だつ こ^みとが 身^みに つく。そ^{しんせい}して、 人^{じん}生^{せい}も 心^{こころ}も 幸^{しあわ}せで 満^みち^た足^たり^たた も^{きみ}の^{かみさま}に な^{ちか}るし、君^{きみ}が 神^{かみ}様^{さま}の 近^{ちか}くに とど^{たす}まる 助^{たす}けに な^{たす}るんだ。



¹ ヘルプ人への手紙 13:7参照

² 詩篇 119:105参照

³ 箴言 8:33参照